



本社

○本社所在地：兵庫県神戸市兵庫区
 ○事業概要：青果物の卸売業、利用運送業
 ○常時使用する従業員：115名
 （グループ全体・2026年9月時点）
 ○現在の売上高：45億円
 （グループ全体・2026年1月期）
 ○法人番号：2140001033974
 ○Web：<https://saika-group.com/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
左倉 広樹

『当たり前のことを当たり前』（企業理念・ミッション）

菜果は青果の小さな利用運送業からのはじまりでした。発注いただくお客様の「こんなことはできないか」というご要望に応じていくうちに、青果物の卸売や加工への対応を広げ、調達から加工、販売、配送までを連携して支える体制を築いてきました。今では、発注から運送まで、青果流通を一貫して任せていただけるようになりました。労働環境の整備や福利厚生などの従業員の待遇改善に努め、社員とともに一丸となり凡事徹底をモットーに青果業界を支え・繋ぎ・広めながら持続発展可能な新しいスタンダードを届けられる企業を目指しております。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

神戸の新工場兼倉庫を整備し、青果物の調達・加工・販売から配送までの体制を強化します。青果販売の拡大、神戸・広島既存拠点の成長等を通じて、2035年にグループ売上高100億円の達成を目指します。



課題

- ・取扱量の拡大に対応する設備、作業体制の整備
- ・若手人材、物流人材の確保と育成
- ・自社による輸出入に向けた市場開拓
- ・海外調達における品質と安定供給の確保
- ・外部顧客からの運送受注拡大と車両、配送体制の効率化
- ・仕入価格、物流費、人件費の上昇や為替変動への対応

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①冷蔵・追熟設備を整え、加工・供給体制を強化。磯商は必要な登録後に倉庫業を開始し、菜果の卸売・利用運送と連携して取扱量を拡大。
- ②ベトナム産パイナップル・バナナ等の直接輸入に向け、品質・供給体制・取引条件を確認。スーパー・市場等の販売先を開拓し、青果販売を拡大。
- ③神優・TBシステムの輸送力を活かし、外部顧客からの運送受注を開拓。神戸・広島の既存拠点の業績を伸ばし、採算性を踏まえて追加拠点やM&Aも検討。

実施体制

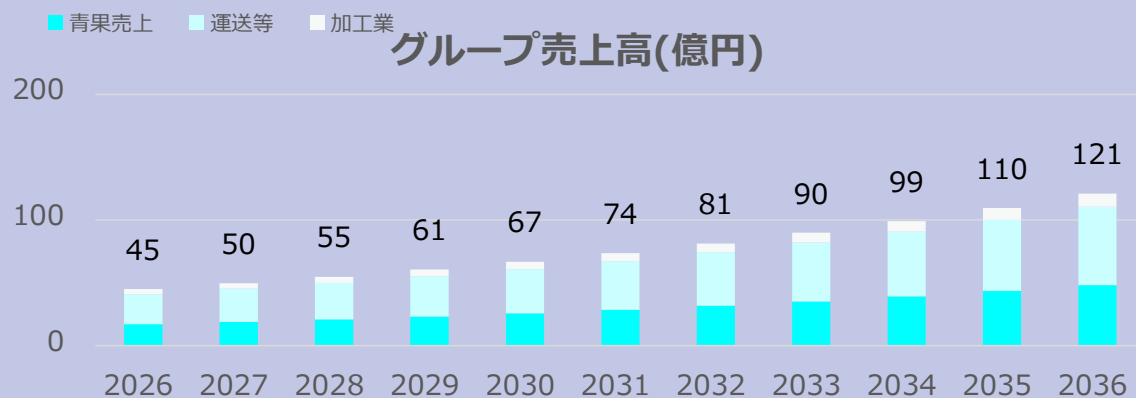
- ・推進体制：グループで進捗・採算を共有し、採用・育成と処遇改善を進める。
- ・菜果：新拠点への投資、青果物の調達・卸売・利用運送及び販売先の開拓を担当。
- ・磯商：追熟・パッキング等の加工と新拠点の運営を担当。
- ・神優：3t超の車両による運送を中心に担当。菜果からの受託に加え、外部顧客からの受注拡大を目指す。
- ・TBシステム：3tまでの車両による小口配送と、既存顧客の運送を担当。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の計画とグループ構成

本宣言は、菜果・磯商・神優・TBシステムの4社による企業グループとして行います。

- ・菜果は、青果物の調達・卸売・利用運送を担います。新拠点への投資に加え、国内外の調達先やスーパー・市場等の販売先を開拓し、新倉庫・工場で取り扱う青果物の卸売と利用運送を通じて、取扱品目・数量を拡大します。
- ・磯商は、バナナの追熟・パッキング等の加工と新拠点の運営を担います。冷蔵・追熟設備等により加工・出荷対応力を高め、倉庫業は必要な登録を受けた後に開始し、加工と保管を組み合わせたサービスを拡充します。
- ・神優は、菜果が受注した利用運送の実運送を担い、新拠点では3t超の車両による運送を中心に対応します。今後は、磯商の倉庫業開始に伴う荷主との接点を活かし、菜果からの受託に加えて、グループ外の顧客からの運送受注も目指します。
- ・TBシステムは、新拠点における3tまでの車両による小口配送と、既存顧客の運送を担います。神優と車両規模に応じて役割を分担し、小口からまとまった数量まで、顧客の配送需要に対応する体制を整えます。
- ・4社で受注、在庫、加工、配送の情報を共有し、品質と採算を管理します。新拠点の稼働に加え、青果販売、磯商広島支店・菜果広島営業所の業績、外部顧客との取引を拡大することで、2035年にグループ売上高100億円を達成し、約110億円への成長を目指します。



※グループ売上高は、グループ内取引を含む各社の売上高の合計です。

100億
達成

菜果グループの構成と各社の役割



4社の加工・販売・輸送機能を組み合わせ、
新拠点を通じた取扱量の拡大と新たな顧客の開拓を進めます。